

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案

3年 1組	教科	外国語（英語）	指導者	日田 英子
単元名・題材名	未来の表現（be going to と will）を使って、修学旅行の予定を英文で書こう。 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM1 Start of a New School Year)		時	4 / 全8時間
本時のねらい	A 修学旅行の予定を B 未来を表す表現（be going to と will）を正しく使って C 簡単な語句や文で書くことができるようにする。			
本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】 作品 (ワークシート・ノート)
展開	めあて	修学旅行の予定を英文で書こう。		
	課題	未来の表現をどのように使い分けて予定を書いたらよいか。		
	課題（めあて）提示後の問題解決の流れ	【課題（めあて）提示後の問題解決の流れ】 （個の思考・・・予定表を見ながら） ・どこ行こうかな、何を食べようかな、何を買おうかな… ・予定は will を使うんだっとな。 ・アイスクリーム（食べる）の単語が分からない（→タブレットで調べてみよう／単語表にあるかな） I will go to Dejima. / I will eat aisu. / I buy kasutera. （ペア活動／グループ活動／全体交流・・・お互いの英文を交流して） ・予定なのに will/be going to が抜けてた！ I will buy kasutera. ・予定だから will を使って書いたけど、友だちは be going to を使ってる。どっちでもいいのかな？ ・出島は行程表に予定されているから be going to を使わなきゃ。アイスは自分で食べたいと思ったから will を使って書かなきゃ。 I'm going to go to Dejima. / I will eat ice cream. ・友だちのアイデアいいな、自分もそれがやりたいから書き足そう。 / in Nagasaki が付け足せる。	(例) 長崎市到着一出島（昼食） ーグラバー邸ーオランダ坂 行程表 (班行動)	
	まとめ	・計画されている行動は be going to 、その場で決まった行動は will を使って表現する。		
	振り返り	・同じ未来でも使い分けがあることがわかった。 ・未来形は予定や計画、したいことを表すときなどに使うことができる。		
「C:努力を要する」状況の児童生徒への手立て	【予想されるつまづき】	【必要な支援・手立て】（場面・方法 等）		
	英作文において、語順が定着していない。	色分けした品詞カードを黒板に提示して、語順通りに書けるようにする。		
	何を書いてよいかわからない。	予定表の中からどの行動を書くか選び、WORDBANK の単語と結び付けながら文を作る。		
	単語が分からない。	辞書やタブレットを適宜使用させる。		